



9月20日(木)・21日(金)の2日間にわたり、16人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の下のカッコ内は所属党派名（無会派は会派に属さない議員）



久保田 裕一  
(そうぞう未来)

**新里町における  
新たな災害リスク**

**質問**

新里町奥沢のゴルフ場跡地において、太陽光発電施設設置のため樹木が伐採され土砂災害等が懸念されるが、事業者に適切な管理を求めることはできるか。

**答弁**

事業者への適切な管理に対する要望については、伐採等届出受理通知書の指導事項を厳守してもらうほか、既存の6か所ある調整池の管理、また、資源エネルギー庁が策定した「事業計画策定ガイドライン」の中で、事業の概要や環境・景観等について地域住民の理解が得られるように努めることと明記されている



おりひめバス

**おりひめバスの  
運行見直し**

**質問**

地域をまたいだ広域バス路線の検討を求めるが、効果と課題についての見解は。

**答弁**

入道については、市民の新たな移動手段の確保につながるが、公共交通の利便性が向上するものと考えている。桐生・みどり地域は鉄道4社が基幹

交通として役割を担っているため、まずはこの4路線を基本に据えて、鉄道とバスの相互の連携や役割分担などを明確にし、現在あるインフラを有効活用した総合的な交通体系として、市民の意見や要望を聞きながら検討することが重要と考える。

ため、地元住民から事業者への相談や要望も可能であると考える。



佐藤 幸雄  
(創志会)

**ブロック塀等の  
対応**

**質問**

緊急性の高いものから改修するとしているが、小中学校3施設・4か所における点検調査状況と改修計画及び改修費用は。

**答弁**

今回改修することとなった東小学校・南小学校は、高さ、控え壁、傾き・ひび割れの各項目で不適合と判定され、新里中学校は、高さ、控え壁、傾き・ひび割れの項目で1か所、傾



新里中学校ブロック塀

き・ひび割れが顕著で、危険性が高いと判定されたものが1か所となっている。改修については、既設のブロック塀を撤去し、メッシュフェンス若しくは目隠しフェンスを10月末までに設置する計画であり、改修費用は、見込み額として、予備費より1267万9200円を充用している。

**小規模ビジネス  
育成事業**

**質問**

費用対効果及び来年度の対応は。

**答弁**

創業機運醸成と創業者の創出、子育てや介護で就業が困難な市民への仕事のあっ旋やコワーキングスペースを中心市街地で展開すること、まちの活性化に繋がるなど、費用対効果は高いと考えている。また、本事業は、地方創生推進交付金を活用し、平成29年度から平成30年度までの2年間の事業となっているが、来年度以降も事業が継続されるよう必要な支援をしていきたいと考えている。



関口直久 (日本共産党議員団)

### オスプレイ飛行訓練中止

質問 9月6日16時頃、当市上空でオスプレイの飛行訓練が目撃されたが、訓練中止を政府と米軍に求めることについては。

答弁 群馬県内での米軍機の飛行は、県民生活に深刻な影響を与える可能性があることから、平成30年6月27日に群馬県知事が防衛大臣に対し、「人口密集地域や公共の安全に係る学校、病院などの建造物に適切な配慮を払い、最低高度基準を遵守して安全性を最大限確保するとともに、騒音など県民に与える影響を最小限にするための適切な対応をとるよう、米軍に強く要請すること」等を文書により要請した。今後も群馬県から事前に情報提供を受け、市民へ必要に応じて情報提供に努め、群馬県

と連携を図りながら市民の安全安心の確保に努めたい。



長尾根峠

### 長尾根峠

質問 長尾根峠道路改良工事における、未整備区間の今後の取り組みは。

答弁 川内町側の県道80mの区間が未整備区間だが、峠部分の第1工区が完成したことから、供用開始後の全線の交通量や利用状況等を見極めながら、今後の整備手法等も含め、この区間の調査・研究を重ねてまいりたい。



辻正男 (そうぞう未来)

### 災害後のトイレ対策

質問 災害時に水洗トイレが使用できない時、家庭でできるトイレ対策は。

答弁 各家庭におけるトイレの使用人数や、個人の身体状況による使用可能なトイレの型やトイレの使用頻度などについて、日頃から把握し、簡易トイレ等の準備を心掛けていただきたい。市では、生き生き出前講座や各地区の自主防災会が開催する研修や訓練時に、災害時のトイレ問題などの事例を紹介し、各家庭における防災グッズの参考となるよう周知・啓発を行っている。ま

た、市ホームページや広報紙でもお知らせをしている。



交差点名標識

### 信号機に観光地名の表記

質問 観光地名を表記することについての見解は。

答弁 既存の交差点名標識の表記については、長きにわたり使用され、地域に浸透しており、市民に愛着があるものと考えられるため、変更する場合は、慎重に対応しなければならぬものと考えている。標識のない信号機や道路新設に伴い信号機を新設する場合には、地域住民や警察などの関係機関との調整を図りながら、道路管理者へ要請をするなど、観光的視点に立ったまちづくりに取り組んでまいりたい。

桑名市で導入されている、通常の勤務時間の前後30分単位で、最大1時間ずらすことが可能な時差出勤勤務制度の導入について。



工藤英人 (創志会)

### 時差出勤の導入

質問 桑名市で導入されている、通常の勤務時間の前後30分単位で、最大1時間ずらすことが可能な時差出勤勤務制度の導入について。

答弁 これまでも公務上の理由での勤務時間の割り振り変更や育児、介護を行う職員の早出、遅出勤務を導入しているが、働き方やライフスタイルが多様化する中で、これら以外の理由で

も時差出勤が利用できることで、ワークライフバランスの推進を図ろうとする桑名市の事例は参考になると考える。当市での各職場や職員のニーズ、またメリット・デメリットなどもよく検討し、桑名市や他の自治体の先進的な取り組みを調べてまいりたい。



北関東三県ウマイもん合戦

### ウマイもん合戦の民間実施

質問 予算、決算の詳細を公開、説明し、開催までのスケジュール等のノウハウを伝授して、民間企業が主導で引継ぐことができないか。

答弁 今後の開催について、会場確保や事業規模、運営手法、費用対効果等、総合的に検討しているところである。民間企業が主導で本事業を引継いでいくために、出展募集や広告宣伝、衛生管理のノウハウ、出展料等取支計画のデータ提供等について、申し出があった場合には、可能な限り対応してまいりたい。

民間企業が主導で本事業を引継いでいくために、出展募集や広告宣伝、衛生管理のノウハウ、出展料等取支計画のデータ提供等について、申し出があった場合には、可能な限り対応してまいりたい。





始 原 井 浩 史  
(クラブ 21)

### 消防分団員の身分保障

**質問** 現在の消防団員等福祉共済制度では、重篤な疾病の場合十分ではなく、生活に影響を及ぼすため検討が望まれるが、公務・公務外における災害事例、また、消防団員等福祉共済の実績は。

**答弁** 消防団員の公務災害事例については、桐生市では過去5年間で、訓練中に3名、消火活動中に1名、計4名の消防団員が負傷した事例が発生しており、全国の例でも、訓練中及び消火活動中の負傷が多く、当市も同様の状況となっている。なお、公務外の災害事例については、全ての把握はしていない。消防団員等福祉共済については、日常生活上の疾病、事故も対象となる共済制度であり、全ての消防団員が公費によ

り加入している。給付の状況は、過去5年間で8名の入院見舞金等の給付事例があり、事例の一部として、昨年、消防団員が脳卒中で約5か月間入院した際、入院見舞金18万円が給付され、生活援護金について現在申請中となっている。その他、心疾患を患った消防団員へ入院見舞金3万6千円及び障害見舞金9万円、死亡した消防団員の遺族へ遺族援護金100万円が給付されている。



消防団

### ○その他の質問項目 ◆(仮称)梅田浄水場と桐生市水道事業経営戦略

**質問** 具体的な職員不祥事防止策は。

**答弁** 「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用した休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、

「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用した休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、



規 島 英 規  
(無党派)

### 職員不祥事防止とトイレ掃除

**質問** 市長を先頭に全職員が、庁舎周辺、トイレなど心を込めた掃除を始めると考えが見解は。

**答弁** 現在、役職に関係なく職場の清掃、整理整頓を行っている。また、各部署で順番に市役所構内及び周辺道路の清掃を行っており、共同作業することで、連帯感、協調性が高まることを実感している。今後、今後も清掃活動は続けていきたいと考えている。

「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用した休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、



桐生市役所

「職員の不祥事防止」の理解と確実な実行を図るため、部課長を対象に説明会を実施し、各所属職員に対して、周知徹底を図り、各課において「不祥事を出さないための宣言文」を作成し、実践している。また、庁内ネットワークを利用した休日前の注意喚起や月初めに「セルフチェックシート」による自己点検、「身だしなみチェックリスト」により自らの行動を点検している。さらに、階層別研修では、

**質問** 山紫水明で綺麗な水が流れる当市に住んでいながら、子どもも自然に触れさせたいと思っても連れていけない場所がないのは残念である。現在のところ親水公園を作る計画はないということだが、野外活動センターのところにあるような小規模な親水護岸であれば、工夫次第で、大きな敷地や多額の予算をかけずに水遊びやバーベキューなどを行える場所を作れるのではないかと考えるが見解は。

**答弁** 当市の河川は谷が深く、急流であるものが多く、安全に自然に親しみ、水遊びをする場所を探すことは難しいものと考えているが、水遊びができる親水公園は大変人気のある施設であるので、今後、国や県などの河川管理者と協議

しながら研究したい。



人 川 久 人  
(創志会)

### 子どものための公園・河川敷

**質問** 市有施設の利用について、市民の声を聞きながら、もう少し柔軟に対応して欲しいと考えるが見解は。

**答弁** 今後、市有施設の老朽化と人口減少が見込まれる中で、公共施設等総合管理計画に基づき施設総量を縮小しながらも、市民の利便性向上のためには施設の多機能化を図ることが必要であるので、更なる有効活用を図るため研究したい。

市有施設の利用について、市民の声を聞きながら、もう少し柔軟に対応して欲しいと考えるが見解は。

市有施設の利用について、市民の声を聞きながら、もう少し柔軟に対応して欲しいと考えるが見解は。



親水公園イメージ



田島 忠一 (そうぞう未来)

### 土砂災害ハザードマップ

#### 質問

広沢町の山際は土砂災害特別警戒区域がたくさんある。その中でも、広沢町七丁目の土砂災害警戒区域等は太田市との境にあるが、これについて、群馬県及び太田市と情報共有しているのか。

#### 答弁

土砂災害警戒区域等の指定については、群馬県内においては、平成26年10月までに群馬県が全県下の指定を完了している。これは、斜面の傾斜等を基準に、桐生市についても、太田市についても指定したものであり、群馬県及び太田市とは土砂災害警戒区域等について共通認識がされている。

### 調理場の水害対策

#### 質問

新中央共同調理場の建設予定



土砂災害ハザードマップ

地の水害対策は。

#### 答弁

桐生市新学校給食中央共同調理場建設予定地については、桐生市の水害ハザードマップで確認すると、最大の雨量では建設予定地に浸水のおそれがあるとされている。現在、新調理場の設計を行っている段階であるが、最大の雨量を想定した建物の水害対策を行う予定はない。しかし、近年、想定できないような災害が各地で発生しているため、関係部局と連携を図りながら、国土交通省に護岸や堤防の整備をお願いしてまいります。



山之内 肇 (公明クラブ)

### 新ハザードマップの活用

#### 質問

住民や小中学校の教育現場において、新ハザードマップの内容や使い方をくまなく伝え、命を守る行動を浸透させる取り組みが必要であると考えられるが見解は。

#### 答弁

関係部局と連携を図り、住民懇談会や出前講座などを活用するとともに、日頃の備えの大切さや自助・共助など、防災意識の向上に努めてまいります。また、防災教育について、新ハザードマップの内容や特徴を踏まえ、自校の防災教育にどのように活用することが有効か検討するよう指導



水害ハザードマップ 保存版

してまいります。

### 危険なブロック塀等への対策

#### 質問

危険なブロック塀等に対し、多くの不安の声があることを踏まえ、それらの一掃に向けて、所有者に安全対策を促すためにも除却・改修工事に関する補助制度を是非創設頂きたい。

#### 答弁

現在、広報紙等で注意喚起を行っているほか、ブロック塀等の所有者や管理者に必要な改善指導を行っている。補助制度の創設については、国の補助制度や県内各市の助成制度の状況を踏まえ、検討してまいります。

### その他の質問項目

- ◆福祉避難所運営の充実
- ◆子ども達の重すぎるランドセル・カバンの解消



園 田 基 博 (創志会)

### 障害者・高齢者への社会参画の支援

#### 質問

市役所における障害者の法定雇用率達成度とその取り組み及び、高齢者の就業支援における取り組みについて伺いたい。

#### 答弁

法定雇用率の過去3年の状況は、平成28年、29年が2・3%、平成30年が2・5%であり、いずれの年も法定雇用率を充足している。取り組みについては、ハ



シルバー人材センター

ローワークや障害者就業・生活支援センター、高等特別支援学校と情報交換を行うなどして、雇用に繋げており、また、10月には、ハローワークが実施する「障害者就職説明会」に参加し、障害者の雇用に繋げていきたいと考えている。高齢者の就業支援における取り組みについては、シルバー人材センターのシルバーまつりの会場や市内スパーでのチラシの配布、桐生タイムスへのチラシの折り込みなど、シルバー人材センターの仕事内容等の周知を図るとともに会員の募集を行うほか、毎月1回、入会希望者を対象とした説明会を行っており、併せて、市役所窓口でのチラシの配布、広報きりゆうでの会員募集記事の掲載などで周知を図っている。

### その他の質問項目

- ◆若者支援
- ◆教育の国際化対応
- ◆経済の国際化対応





岡部 純朗 (そうぞう未来)

### おりひめバス等について

**質問** ダイヤ改正に伴う検討委員会の構成は。

**答弁** 自治会などから住民又は利用者の代表のほか、運行事業者、バス協会、タクシー協会、学識経験者、また道路管理者、警察などを含む行政関係者を予定している。

**質問** 桐生市社会福祉協議会のバスが廃止となった経緯は。

**答弁** 登録から23年が経過し、走行距離は19万kmになり、車体や内部の部品が老朽化し、運行に支障をきたしていた。また、運行の安全を確保するために、その指導を行うものが、専任でない状況であり、買替費用の財源や運転手の確保も難しいことから平成30年3月31日をもって廃止となったと聞いて



おりひめバス

いる。

### 赤岩用水路

**質問** 使用されていない引込水路が増え、草木が繁茂しているが、伐採等は。

**答弁** 農業用水は、本来、受益者である耕作者の管理となるが、耕作者の減少や高齢化により、市に管理が移管されているので、水量調整や雑草の除去等は臨時作業員で行い、危険個所の伐採等は業者委託により行っている。いずれにしても関係部局と連携を密にし、水路の安全を図るべく維持管理していきたいと考えている。



小滝 芳江 (クラブ 21)

### 公立学校教職員の残業、休日出勤

**質問** 公立学校教職員の労働時間短縮に向けた具体的な対策は。

**答弁** 各学校では教員の負担軽減の視点から、校務分掌等の整理・精選、会議や行事の精選、校時表の見直し等により教材研究や事務処理の時間の確保等に取り組んでいる。また、小学校において、教科担当制を導入し、毎日、授業を受け持たない時間を1時間以上確保する学校が増えている。また教育委員会としても夏季休業中の学校閉庁日を実施するなどの取り組みを進めている。



授業の様子

### 男女平等と女性活躍推進

**質問** 女性活躍推進法に基づく行動計画の推進状況を把握・分析し、女性の積極的な登用・評価の実施は。

**答弁** 平成28年3月に「女性活躍推進法に基づく行動計画」を策定し、女性職員の活躍の推進に向けた目標として、管理的地位への女性職員の登用を掲げ、この目標を達成するための取り組みとして「キャリアアップ」「職場環境づくり」「男性職員の育

進」「女性職員が意見交換を行える場づくり」「意識改革」の取り組みを掲げ、昇進や仕事に対して意欲的に取り組める職場環境を醸成し意識改革に努めている。



見 武 男 (創志会)

### 群馬大学理工学部との連携

**質問** 群馬大学理工学部と今後どのように連携していくのか。

**答弁** 自動運転実証実験については、株式会社ミツバ及びミツバグループが群馬大学と共同研究という形で、「地域の移動課題解決に向けたモビリティネットワーク社会実装研究」を桐生市内で実施することを構想し、具体的な検討を始めている。市としても、実験場所や実験方法についての助言、地域住民や関係機関との調整など、出来る限りの協力をを行い、地域を牽引する市内企業と地元大学の研究がスムーズに進むようサポートしたい。学生の市内定着については、まずはその手がかりとして桐生市に対する理解や関心、親しみを深めてもらうことを目的とした初め



群馬大学工学部同窓記念会館

ての試みとして、群大生と市長の懇談会を、10月31日に桐生キャンパスで実施する予定である。新たな取り組みとしては、市立幼稚園・小中学校の教育活動及び教職員研修の充実のためには、群馬大学との連携が不可欠であるとの観点から、教育委員会における群馬大学との連絡窓口の一本化を目的とした群馬大学連携推進部門を設置した。このことにより、群馬大学の専門性を生かし、桐生ならではの特色ある教育を今後一層推進するべく、教育分野においても群馬大学との連携強化を図りたい。



新井 達夫 (そうぞう未来)

### 有害鳥獣対策

#### 質問

市の対策として、どのような事業を行っているのか。また、サルの捕獲檻について、移動式の捕獲檻が効果的であると考えるが見解は。

#### 答弁

市の対策として、イノシシやシカの捕獲を実施しており、黒保根地区においては、捕獲檻と、くくり罠による捕獲を実施している。サルの捕獲檻については、現在固定式であるが、効率的に捕獲頭数を増やし被害軽減を図るため、移動式の捕獲檻の導入を含め、様々な観点から検討してまいりたい。

### 複合木材市場

#### 質問

複合木材市場は、いつ完成するのか。また、複合木材市場の木材取扱量及び樹種、材質について



の将来的な計画は。

#### 答弁

複合木材市場の完成時期については、事業主体である群馬県森林組合連合会が、平成30年度末までに完成する予定で整備を進めている。また、複合木材市場の木材取扱量等については、スギ・ヒノキを基本として、建築用材からチップ用材となる低質材まで幅広い木材を集める計画であり、既存市場の1万㎡をベースとして、平成31年度に1万3000㎡を計画しており、徐々に増やして、5年後には2万6000㎡にする計画と伺っている。



周 東 照 二 (公明クラブ)

### まつりと酷暑対策

#### 質問

桐生八木節まつり・地域のまつり等への酷暑の影響と今後まつり等の暑さ対策については。

#### 答弁

桐生八木節まつり・地域のまつり等への酷暑の影響と今後まつり等の暑さ対策については、当日、気温の上昇が見込まれたため、子どもみこしパレード及びジャンボパレードを中止したほか、ダンス八木節のうち、子どもが出演する部分について、中央公民館の市民ホールに会場を変更した。猛暑の中での開催だったが、大きな事故や傷病者もなく、無事に終了できた。地域のまつり等への酷暑の影響については、法被



や神輿、太鼓の貸し出しを行っている団体に確認したところ、1件のみ太鼓の引き回しのコースを短縮した団体があったほかは、酷暑を理由とするまつりの中止や変更はなかった。地域のまつりについては、基本的に自治会などの主催者の責任のもとで開催されるものと考えているが、市としても、ふれあいメールや市ホームページなどで熱中症予防のための注意喚起を行っている。今後のまつり等の暑さ対策については、イベントの時間帯、会場、コースの変更などあらゆる角度から対策を検討したいと考えている。また、地域のまつりやイベントについては、市民の健康を第一に、引き続き注意喚起のための情報発信に努めてまいりたい。

## 第26回議会報告会・意見交換会

日時 平成30年11月2日(金) 場所 川内公民館 集会室  
午後6時～午後7時10分

### 議員による寄附や年賀状などは法律で禁止されています

公職選挙法により、議員は次のことを禁止されています。市民の皆様のご理解をお願いします。

- 年賀状などのあいさつ状を出すこと。(答礼のための自筆によるものは除きます)
- 寄附をすること。
- 本人が出席しない慶弔に祝儀や香典を出すこと。

## 人事案件

市議会は、次の人事案件2件に、異議ない旨回答することに決定しました。

#### 人権擁護委員候補者

- 高澤 準 次氏 (再任)
- 深沢 博 行氏 (再任)